

生物科学学会連合 第2回連絡会議記録

日 時： 1999年3月25日(木)午後2時～4時

場 所： 学士会分館(東京・本郷)

出席者： 丸山 工作(日本動物学会) 星 元紀(日本動物学会)
平野 寛(日本解剖学会) 中野 明彦(日本細胞生物学会)
邑田 仁(日本植物学会) 渡辺 昭(日本植物生理学会)
野村 正彦(日本神経化学会) 宮下 保司(日本神経科学学会)
松本 忠夫(日本生態学会) 川戸 佳(日本生物物理学会)
本郷 利憲(日本生理学会) 守 隆夫(日本動物学会)
八杉 貞雄(日本発生生物学会) 丹羽 修身(日本分子生物学会)
徳久 剛史(日本免疫学会)

(欠席) 日本遺伝学会 日本生化学会

配布資料： 1. 第2回連絡会議出席予定者名簿
2. 生物科学・学会連合第1回連絡会議記録(案)
3. 生物科学学会連合の運営に関する申し合わせ事項
4. 国家公務員I種試験「生物」合格者採用要望書
5. 国家公務員試験I種「生物」採用者数

議事要旨：

- 1) 生物系学生の公務員採用枠拡大に関する要望書が文部省、科学技術庁に丸山代表から提出されたことが報告された。関連して、人事院では採用枠を見直し中との噂のあること、化学・農学系は受験者、合格者も多いが生物系は合格率が低いこと、細分化されていた農学の試験区分をまとめる動きのあることなどが併せて報告された。
要望書の表現を変えるなどして今後も継続して生物系学生の公務員採用枠拡大のためにPRを行ってゆくこととし、その折は動物学会が加盟学会に案文を配布することとした。
- 2) 生物科学学会連合(以下、生科連)の今後の活動目標について自由討議が行われ、以下の諸点が話題となった。
 - ・ 学術会議に移管された科学研究費配分の審査員選出をめぐる問題と配分方法の是非
 - ・ 学生・生徒の理科離れ(免疫学会)——初等・中等理科教育について学会ごとに討議した結果を持ち寄ってはどうか
 - ・ 理科教員のなり方に潜む問題点——教育実習重視傾向の是非
 - ・ 研究者と技術者の協力関係の今後(解剖学会)
- 3) 今年度の生科連世話役学会は日本動物学会、世話役代行学会は日本植物学会とし、世話役代行学会が次年度の世話役学会となることを申し合わせた。

以上